女性と女児の
夢の実現に向け一丸となる

統一行動：“キャッチ！SOS” キャンペーン

東北６県・北海道のソロプチミストクラブでは３回の国際デーに合わせ女性の心と身体が発信するSOSをキャッチしようと、昨年に引き続き統一行動を行います。

３月８日は「国際女性デー」

キャッチ！SOS：乳がんの早期発見につとめましょう

SI 秋田

２月 15 日、「夢を拓く」茶話会終了後、会員がキャンペーン用ジャンバーを着用し、出席者全員で「乳ガン検診を」受けましょう」のカードをかかげて「国際女性デー」の活動を行った。

SI 福島

2 月 27 日の例会の際に，乳がんや他のがんのリスクについて勉強会を行いました。
乳がんはセルフチェックに加え、検診が大切である事、乳がん患者の方の事例、エピソード、治療法等を勉強しました。会員は早期発見のため、自己検診・がん検診の大切さを再確認しました。
その後、「国際女性デー」のキャンペーンボードに会員各々の思いを書き込み、勉強会を終了しました。

SI 八戸

2020 年 3 月 8 日に八戸市のショッピングセンターピアドウで実施すべく、2 か月前から会員に参加を呼びかけ、ピンクリボンのリーフレット、ポケットティッシュなどの配布物、シリコンモデルなどを用意していたが、新型コロナウイルス感染防止に対する政府指針に従い、やむを得ず本年度の街頭での実施を断念した。
3 月例会でピンクのカラーコードの服装でプラカードを掲げて実施することも計画されたが、3 月例会も新型コロナウイルス感染防止のため休会となった。
今後については検討中で、実施時期・方法等は現時点では未定。

SI 原町

３月８日、『乳がんの早期発見に努めましょう』をスローガンに、“コロナ”の影響でか、足早に買い物を済ませる客で賑わうスーパーの店頭で、１ 人でも多くの女性に関心を持ってと願いつつ、7 名で啓蒙活動をしました。

乳がん検診受診呼び掛け

「国際女性デー」の８日、国際ソロプチミスト原町は南相馬市原町区のヨークベニマル原町西店で、乳がん早期発見啓発活動を行った＝写真。会員７人が参加。「乳がんを知ろう」と題した自己検診のやり方などをまとめたチラシを買い物客に手渡し、乳がん検診の早期受診などを呼び掛けた。

SI 本荘

3 月 16 日、新型コロナのため、街頭での SOS キャンペーンは出来ませんでしたが、地元の保育園の先生や、社会福祉協議会の職員さんに、パンフレットを配布しました。皆様から、真剣に見ていただきました。

SI 石狩

夢を拓く茶話会に於いて、石狩翔陽高校ボランティア局の皆さんと先生、そして講演の講師の方にもボードを掲げて頂きました。世界中がコロナウイルスに脅かされる中で 3 月を迎えました。1 日も早い終息を祈ります。

SI 石巻

高校生を中心に、駅前にてチラシ配布を続けてまいりましたが、なかなか受け取ってもらえず、今年から“S クラブ”新入会員入会式、並びに茶話会におきまして、女性と女児の生きる力と可能性をはぐくむ為の啓蒙活動を致しました。

SI 石巻サン・ファン

令和 2 年 1 月 19 日昨年同様、より多くの皆様に訴えることができるチャリティーコンサートで啓発活動をおこないました。のぼりを立て、ボードにメッセージを書き貼り付け、お一人お一人に会員が声がけを致し、啓発チラシを配布いたしました。

SI いわき

国際女性デーの活動として、3 月 6 日いわき 3 クラブ合同で予定していました「乳癌の講演会」講師、常磐病院尾崎彰彦先生。いわき市総合保健福祉センター多目的ホールに於いての講演は、新型コロナウィルスの影響で残念ながら中止となりました。

SI かみのやま

チャリティーワインパーティーに於いて「乳がんキャンペーン」のティッシュを、来場者 270 名にお配りしました。

上山産ワイン片手
味わいながら交流
ソロプチチャリティー

国際ソロプチミストかみのやま（内野昌子会長）の第17回チャリティーワインパーティーが11日夜、上山市の古窯で開かれ、参加者約300人が上山産ワインを味わいながら交流を深めた。

市教育委員会、みんなの居場所と有償ボランティアどんぐりの木、かみのやまこども食堂かえる家に収益金をそれぞれ贈った。コンサートやチャリティーオークションもあり、参加者はワインを楽しみながら和やかに談笑していた。

国際ソロプチミストかみのやまは、ワインパーティーやゴルフ大会、市産業まつりでバザーを催すなど、年間を通してチャリティー活動に取り組んでいる。（長瀬亮）

SI 気仙沼

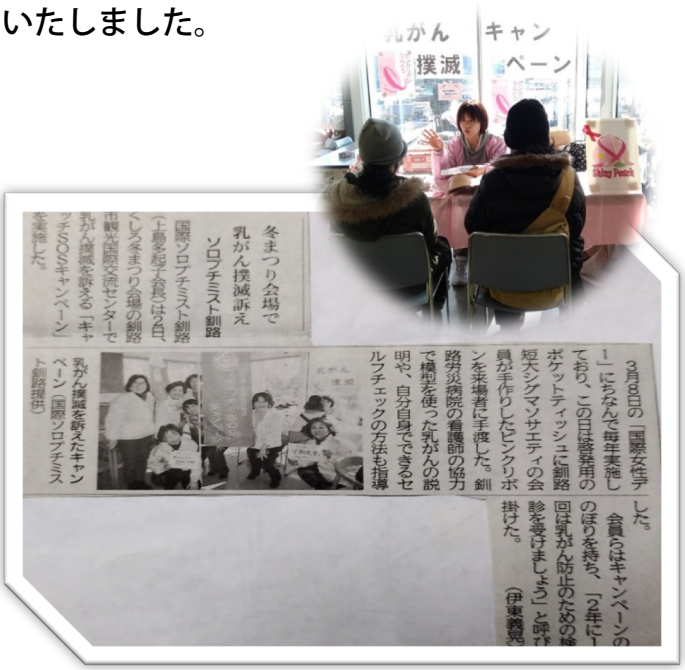
2 月 23 日、気仙沼市民会館にてミュージカル「ジバング青春記」公演のとき、会員 13 名の参加によりキャッチ SOS キャンペーン(国際女性デー)チラシを一般の入場者に配布し、知名度アップにつながる活動になりました。

SI　郡山

3 月 5 日､抗がん剤の副作用に悩む患者さんのために会員が手縫いのタオル帽子 15 枚を作成し、星総合病院化学療法室へ贈呈した。初めての試みであるため、タオル生地の選定や縫い方など試行錯誤ではあったが、会員は一針一針心をこめてタオル帽子を作成した。

SI　釧路

釧路冬まつり会場にて　国際女性デー（3/8）にちなんだキャッチＳＯＳキャンペーン活動を患者会 3 名看護師さん会員 7 名で行いました。ティッシュに釧路短大シグマソサエティ会員が作成したピンクリボンを入れ配布して、釧路労災病院看護師さんによる模型を使っての乳がんの説明、セルフチェックの方法を指導していただき、2 年に 1 回は「乳がん防止のための検診を受けましょう」という啓発活動をいたしました。



SI　釧路アミティ

４月５日、新型コロナウイルス感染防止をしっかり行った上でお勉強会を開きました。乳がんの患者さんやご家族が悲しみを繰り返すことのないように、乳がんについて正しい知識を知り、乳がん検診・乳がんの早期発見・早期治療の大切さを会員間で再確認しました。

SI　三沢

ビードル広場での　くのいち(9 日に開催される市場)で賑わう３月９日、乳ガン検診啓発のチラシ・キャンディ・テッシュをセットにして、配布いたしました。終了後、乳がん患者「ひまわりの会」の皆様と茶話会実施。又、地元ケーブルテレビの取材があり、後日放映されました。

SI 南陽

３月８日「国際女性デー」当日、ヨークベニマル南陽店頭で、乳がんの早期発見のための検診や自己チェックを呼びかけるキャンペーンを実施しました。会員７名が参加し、乳がん自己チェック方法を記したポケットティッシュ 350 を配布しました。

山形新聞 3月9日 掲載

◉…国際ソロプチミスト南陽（高橋愛子会長）は８日、南陽市三間通のヨークベニマル南陽店前で買い物客に乳がんの早期発見に向けた検診や自己チェックの大切さを訴えた＝写真。

◉…会員７人が参加し、のぼりやプラカードを掲げて店舗入り口に並んだ。女性客らに「乳がん撲滅のキャンペーンです」「進んで検診を受けましょう」と声を掛け、セルフチェックの仕方を紹介するチラシを添えたポケットティッシュ約200個を配った。

◉…この日は国際女性デーで、啓発活動は東北地方と北海道の国際ソロプチミストが年３回行っている統一キャンペーンの一環。高橋会長は「乳がんに加え、今年は新型コロナウイルス感染予防も念頭に置き、健康に留意してほしいとの願いを込めた」と話していた。（多田良宏）

SI 帯広

国際女性デーの啓発活動として帯広保険福祉部健康推進課の保健師上川原奈未様をお迎えして帯広市の現状と乳ガンに関する取り組みについての卓話をしていただきました。会員も積極的に検診を受けるよう話し合いました

十勝毎日新聞

2020年(令和2年)2月27日（木曜日）

◆国際ソロプチミスト帯広（堀五十鈴会長）の卓話会

19日、帯広市内の北海道ホテルで開かれた。国際婦人デー（3月8日）にちなんだ催しで、会員23人が出席。帯広市保健福祉部健康推進課の保健師上川原奈未さん＝写真＝が「帯広市の現状と乳ガンに関する取り組み」と題して話した。帯広は全国に比べて3%ほど罹患（りかん）率が高い状況で、「女性がんと言われる子宮がん、乳がんの発生が特に高くなっている」と説明し、会員に健康診断を受けるよう勧めた。

SI 札幌ノイエ

2 月 15 日（土）2018-2020 年期国際ソロプチミストプログラムとして札幌日本大学高校の生徒 11 名との「夢を拓く茶話会」を開催。良い成果とともに女性と女児の健康に関する「乳がん予防と早期発見のためのピンクリボンキャンペーン」を説明してピンクリボン入りティッシュを配布し学びを深めていただきました。

SI 仙台一青葉

1 月 23 日、乳がんを患いながらも“笑い”をモットーに前向きに活動されている庄司真理子氏を講師に迎え、乳がん撲滅に向けての話し合いを行った。
絵本「100 万回生きたねこ」の朗読もあり、家族の愛情の大切さなどを学んだ。

SI 天童

コロナウイルスにより、全ての活動を自粛するよう、政府より要請がありましたので、活動を縮小し、３月７日、滝の湯ホテル・あづま荘のカウンターに、ピンクリボンカードをティッシュの中に入れ 200 個を置き、各お客様に取って頂き乳がん死亡０活動を致しました。

乳がん早期発見へ
自己検診呼び掛け
ソロプチミスト天童

天童 国際ソロプチミスト天童（高橋ゆき江会長）は「国際女性デー」の8日、天童市のあづま荘、滝の湯で乳がん早期発見キャンペーンを行った＝写真。

2ホテルのカウンターで、メンバー5人が乳がん死亡ゼロを目指すピンクリボン・スリースマイル運動を紹介するティッシュ計400個を配った。そろいのジャンバーでプレートを掲げ、「月1回は自己検診を」と呼び掛けた。

SI 稚内

毎年年末に開催される稚内市名士カラオケ大会に合わせ、恒例の“キャッチ！ＳＯＳ”キャンペーンを実施しています。今年も 12 月 8 日、会員が啓発用のティッシュを会場に集まった約 1,000 人の観客に配布しました。